

今回は**第1回SGH講演会**についてお伝えします。

◇「やさしさを広げて、学校を創る」 若尾守康氏(ジースプレッド株式会社代表取締役)

日 時: 平成28年6月21日(火) 6・7限目 **対象:** 1・2年生全員

場 所: 関高校体育館 **講 師:** 若尾守康氏(ジースプレッド株式会社代表取締役社長)

今年度第1回目のSGH講演会の講師はジースプレッド社(美濃加茂市)の若尾守康さんです。製菓会社の経営者である若尾さんは、NPO法人ワールドビジョンジャパンと提携し、売上5%を途上国の学校建設のために寄付する事業を展開されています。

ジースプレッドとは、GENTLENESS(優しさ)の頭文字Gと、「広げる」を意味するSPREADをつなげた言葉。「優しさを日本に世界に広げよう」との若尾さんの願いが込められています。禁煙をきっかけに始めた途上国の子どもへの支援、世界各地の子どもを訪ねたふれあいの旅、そしてミャンマーやバングラデシュでの学校建設(下段右はミャンマーの学校の様子、ジースプレッド社のHPより)。若尾さんの情熱的な話しぶりに魅了された80分でした。



生徒よる感想文 ～今回の講演を聴いて考えたこと～

今回の講演は、我われの地元である岐阜県中濃地区の企業が発信する国際貢献活動のお話でした。同じく国際貢献をめざす関高生にとって、若尾さんのお話は、これからのSGH活動にとって大いに参考になりました。以下の文章は、生徒たちの感想文です。

■ どうしたいのか、どうすべきなのかを考えるのは簡単なことですが、行動に移すのは難しいことだと思います。でも若尾さんのように強く願い続け、勇気をもって行動することで、少しずつでも世界は変わっていくのだと、今回の講演で学ぶことができました。

■ 途上国に学校を建てたことはすごいし、夢を実現させる若尾さんの行動力はすごいと思いました。一日一回ありがとうを言ってもらえるように、日頃から優しい心を持って過ごしたいです。

■ 今回の講演で、僕は世界を知ることと人に優しくすることの大切さを知りました。お菓子を通していろいろな国の人とつながり、たくさんの子どもたちや貧しい国の人々を救うという社会貢献は本当に素晴らしく尊敬します。

■ 「優しさは学歴よりも地位よりも大切で、世界共通のものなんだな」と思いました。「一日千回ありがとうを言うよりも、一日一回ありがとうを言われる人になりたい」という言葉が心に響きました。

■ SGHと聞くと、遠く海外のことを扱う気がするけど、今回の講演で考えが変わりました。一つ目に「身近なことを自分を変える」ということです。高校生の場合、例えばゲームの時間を減らして、家族と世界の問題を話してみるというのはどうでしょうか。二つ目は優しさをもつということです。人を変える時、その人に対する愛情が大事なんだと気づかされました。